



# 田上町 議会だより

第107号

■平成27年7月24日 発行



▲あじさいまつり「湯のまち巡り」華蔵院での茶会

---

6月定例会	.....P2
請願・陳情・発委案・発議案	.....P3
一般質問(7議員)	.....P4~10
全員協議会	.....P11
付託案件審査報告	.....P12~13
所管事務調査報告、一部事務組合等の報告	.....P14
議会からのお知らせ	.....P15
議員の決意/編集後記	.....P16

---



6月16日

6月23日

6月定例会の議案

田上町の「今」と「これから」をお伝えします

# 4月改選後、初の定例会

- ・ 広報対策特別委員会を常任委員会へ
- ・ (仮)地域交流会館等建設調査特別委員会設置



### 【条例改正】

- ・ 田上町介護保険条例の一部改正
- ・ 田上町手数料徴収条例の一部改正
- ・ 田上町個人情報保護条例の一部改正

### 【条例の廃止】

- ・ 田上町国営土地改良事業負担金徴収条例の廃止

### 【27年度補正予算】

- ・ 一般会計
- ・ 下水道事業特別会計
- ・ 介護保険特別会計
- ・ 水道事業会計

### 【報告】

- ・ 26年度一般会計繰越明許費繰越計算の報告
- ・ 県央土地開発公社事業計画書及び事業報告

### 【追加議案】

- ・ 監査委員の選任
- ・ 池井 豊議員を選任

全ての議案は可決・同意しました



▲特別委員会設置の提案説明



▲監査委員人事案件の起立採決

## 請 願

請願番号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 2 号	TPP交渉に関する 請願	三条市興野 3丁目10番7号 にいがた南蒲農業 協同組合 経営管理委員会 会長 吉田 文彦	小池真一郎	採択	内閣総理大臣 内閣官房長官 外務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 経済再生担当大臣 (TPP担当大臣)

## 陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 1 号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	新潟市西堀通3-799 カメラア206号 新潟県労働組合総連合 議長 佐藤 一弥
陳 情 第 2 号	「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を求める意見書」の採択を求める陳情	
陳 情 第 3 号	「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立、中小企業支援の強化を求める意見書」の採択を求める陳情	

## 委員会発議による発委案

件 名	内 容	提出委員会	審査結果
田上町議会委員会条例の一部改正について	従来、広報対策特別委員会を設置し、議会だよりの発行を主体とした広報活動を展開してきたが、最近の情報化の進展に伴う業務量の増加により広報常任委員会に移行するもの	議会運営委員会	原案可決

## 議員発議による発議案

件 名	内 容	提出議員	議決結果
(仮) 地域交流会館等建設調査特別委員会の設置	現在検討が進められている生涯学習機能を持った「(仮) 地域交流会館」と「道の駅」構想の在り方等、今後の諸問題について調査、研究するもの	椿 一春	原案可決



小嶋 謙一 議員

ここが聞きたい

# 一般質問

## 人口減少の取り組みに対する、町の実態と今後の見通し

町長：地方版総合戦略の施策を実行し解決

しかし企業誘致は2社の進出にとどまり、売却率は15・8%と低い状況です。当町の制度融資は設備投資向けで、限度額が1千万円と少額で企

業立地向けではありません。今後は指摘のように国や県の制度を含め、企業立地向けの制度融資を検討していきま

す。農業法人の立ち上げについては、田上の農業を考えた時に喫緊の課題と考えますが、本田上工業団地は農村地域工業等導入促進法の適用を受けていることから、主に製造業の誘致を進めてきました。近年は農業法人等による6次産業への取り組みも見られ、食品製造等にも期待しています。

販売見通しについては議員の指摘通り、働く場所と人口減少問題は大きく関連している。町の総合戦略にも関連する課題でもあり、少しでも誘致が進むよう取り組みます。

情報提供推進委員の登録数は何社ですか。町長自らトップセールスはできませんか。町長 トップセールスは現在も実際行っていて、医療機関が進出したいという話もある

町長 平成22年に「産業活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ、分譲価格の見直しや新パンフレットの作成などPRに努めています。新たな試みとして、一般住民や金融機関を対象に「企業進出情報提供報奨制度」を創設して企業に関する情報を募っている他、金融機関や建設業、不動産業に対して「情報提供推進委員」への登録をお願いしています。

本田上工業団地への企業誘致の現状と今後の見通しは

問 誘致活動の取り組みに制度融資の活用も加えていますか。業種を農業法人など、地元雇用に関わる産業の選択肢はないか、また施設方針で明言した販売目標70%に対する見通しをたずねます。

町長 403号線とJR踏切に関連した朝夕の交通渋滞は中店、湯田上、大沢峠入口、坂田交差点など右折車線がないことや、坂田交差点は、JR車両通過に伴う待機場所が非常に短いことが原因となっています。403号線バイパスの全線開通後の車の流れに

町長 403号線とJR踏切に関連した朝夕の交通渋滞は中店、湯田上、大沢峠入口、坂田交差点など右折車線がないことや、坂田交差点は、JR車両通過に伴う待機場所が非常に短いことが原因となっています。403号線バイパスの全線開通後の車の流れに

町長 43行政区以外にサークルや団体などの組織がなく、コミュニケーションに対する下地が弱いと感じています。常々職員に積極的に地区に出向き話し合うことを訓示しながら、地域の課題を解決するため、地区からの提案型懇談会を企画しています。このような活動を通して町民の思いを醸成しつつ、機運が高まった中で、地域が本当に求めている支援を考えていきます。



笹川 修一 議員

## 国道に通じるアクセス道路の整備と安全対策は

町長：町の安全対策の施策と遂行

交通事故防止につながる交差点、踏切の改修を

問 ①403号線バイパスの開通に伴うアクセス道路の整備計画と危険個所の実態を把握していますか。

町長 ②JR坂田踏切は交互通行のうえ見通しが悪く危険な状態にあり、改修が必要です。③坂田と大沢峠入口交差点の交通渋滞緩和のため、右折待機場所の確保が必要であり、坂田交差点は押しボタン式から右折矢印信号へ変更した方が良く考えますが、町長の考えをたずねます。



▲坂田踏切

町長 国、県、JR等、協議会を設置し話し合いを進めていきます。

町長 平成24年10月の調査で町の空き家は45件あり、うち1件は除却済みです。危険度は、職員が直接現場に向き、危険と判断されるものはなく、ランク付けはしておりません。国の法律に関する説明は、最近開催され、内容は、説明程度で財政支援など未定であります。町の予算や空き家対策協議会は、現時点では未定です。

増え続ける「特定空き家」の対策は

問 町の各地で特定空き家が増え、ハクビシンなど動物が住みついたり、樹木が伸びて困っている住民の声を多く聞きます。①空き家の危険度によるランク付けなどの実態を把握していますか。②空き家対策協議会の設置など対策の計画はありますか。③対策の町の予算はどの位ですか。④広報活動はどのように実施しますか。

町長 国の定義に合わせて調査します。危険な空き家は行政代執行も視野に入れ、今後の課題だと思っています。



▲倒壊した空き家

町長 国の定義に合わせて調査します。危険な空き家は行政代執行も視野に入れ、今後の課題だと思っています。

地域コミュニティ活動の促進と支援制度の策定を

問 第5次田上町総合計画ではコミュニティ活動に対して財政支援だけでなく、人材や、組織育成の必要性が明記されています。しかし、これを支援する制度がないことが課題になっています。町長の考えをたずねます。

町長 43行政区以外にサークルや団体などの組織がなく、コミュニケーションに対する下地が弱いと感じています。常々職員に積極的に地区に出向き話し合うことを訓示しながら、地域の課題を解決するため、地区からの提案型懇談会を企画しています。このような活動を通して町民の思いを醸成しつつ、機運が高まった中で、地域が本当に求めている支援を考えていきます。



松原 良彦 議員

ここが聞きたい

# 一般質問



今井 幸代 議員

## 原ヶ崎交流センターの今後は

町長：最小限の改修方法や金額等は、今後示していく予定

### よみがえるか 原ヶ崎交流センター

**問** 全部取り壊して使い勝手の良い、身の丈にあった新しい建物を希望していますが、既存の建物の改修と増築した建物で、将来に渡り町民に満足度の高いサービスが出来るのかたずねます。

また、必要最小限の改修と謳っているが、検討する見方によっては、金額に大きな差が生じるのではないか。金額や手だてなど概ね検討ができていないのなら公表してほしい。本の蔵書についても2万から2万5千冊と述べているが蔵書の構成はできていますか。この点は重要と考えますので、町長の所見をたずねます。

**町長** (仮) 地域交流会館と一体的な事業を行う上で、原ヶ崎交流センターは出来るだけ費用をかけずに必要最小限の改修と、学習スペースを確保するための増築を行い、町

## 情報セキュリティ対策の実効性を高め、対策レベルの強化を

町長：対策レベルを強化し特定個人情報保護評価書を作成

### 町の情報セキュリティ対策の現状は

**問** 町は住民の個人情報や企業の経営情報等の重要情報を保有しています。電子自治体の進展が進めば、情報システムの停止等が発生した場合は広範囲の業務に影響が出て、住民生活や経済活動に重大な支障が起こる可能性も高まります。

現在問題となっている日本年金機構からの情報漏えいは個人情報流出被害の大きさと同時に、典型的な標的型サイバー攻撃の事例として大きな注目を集めています。マイナンバー制度の導入も控え、今まで以上に情報セキュリティを確保するとともに、地域全体への情報セキュリティ基盤の強化を図らなければなりません。

**町長** 町の現状は、住民基本台帳や税情報などの情報を管理しているサーバーは、通常のインターネット回線とは接続しておらず、外部からのアクセスは理論上できません。また、インターネットに接続しているパソコンは、ウイルス対策やスパムメールやハッカー対策ソフトなどを使用しています。しかし、日本年金機構の個人情報流出のように、一般職員の端末がウイルスに感染し、その端末に個人情報があった場合には情報が流出する可能性が否定できないため、対策レベルを強化していくことが必要だと感じています。

今後は、一般職員の使用する端末については基本的に個人情報を取り扱わないことや、パスワードを設定するなど、新しいルールを作り、特定個人情報保護評価書を作成してホームページ等で周知をしていきます。

民が満足するよう最大限検討を重ねています。

また、最小限の改修については、金額と改修方法など今後示す予定です。

なお、原ヶ崎交流センターに図書館機能を設置した場合は、計画では2万冊から2万5千冊くらい、当町公民館に1万冊程あるのも加えます。その内容については、他町村の状況も考慮して、専門家あるいは司書の意見も聞きながら、不足する分野を中心に整備していきたいと考えています。



▲転作大豆畑の中耕作業

### 公共施設最適化事業債を活用し町民体育館の更新を

**問** 町民体育館は築40年を超え、老朽化も著しく、施設更新時期が迫っているのは明らかです。町のスポーツ振興、町民の心身の健全維持、子どもたちの健全育成の場としてこれからも大きな役割を担う施設であり、更新の必要性、重要性も高いと考えます。

駐車場も少なく、各種大会をするにも困難なため、大規模な大会を誘致できない、床の劣化や、耐震性に対する不安などの声が多数聞かれます。現在道の駅等の基本構想を策定中ですが、不安を持って

いる方も多くいます。既存の公共施設の集約化、複合化を実施するものに関しては、地方債充当率90%、交付税算入50%という非常に有利な事業債、公共施設最適化事業債の対象となります。これを活用して田上町公民館、原ヶ崎交流センター、町民体

### 今年の生産調整達成 見込みは

**問** 町内においても田植えも終り、農家においては一段落の様子が見えます。今年のお米の配分率は過去最高の40・9%であり、各農家にとって頭の痛い問題です。今年のお米の生産調整は100%達成できそうですか。

米価が下落した際に収入を補償する制度、「収入減少影響緩和対策」に26年度、何件の申し込みがありましたか。26年度産こしいぶきの格落ちについて、原因や対策など今後の対応についても町長の見解をたずねます。

**町長** 今年度は過去最高の転作率であります。

例年の転作率からいっても今の状況からみても恐らく100%達成は難しいと思っています。26年度としてナラシ対策では、非加入者に対する収入減

育館の集約化をすることで施設更新を有利に行い、町民の行政満足度の向上、にぎわいの創出につながることも一つの手段ではないですか。

**町長** 条件として施設全体の面積を減少すること、また期間も平成27年から3年間の限定的事業であり、その後の継続が可能かは不明です。

このため、今回のにぎわいの創出につながるには時間的制約など難しい状況です。

体育館は約42年経過し、現状耐震構造となっていないために耐震化対策が必要であること、競技場の床の劣化や2階席の一部に強風に伴う雨漏りなどがあると聞いています。いずれにしても、町民の避難施設として十分な対策がなされていない状況であるため、今後計画的に改修していかなくてはならないと思います。

少影響緩和対策が実施されました。内容は、26年度産に限り非加入者が、抛出しでナラシ対策に加入できるという見直しです。

ナラシ正規加入者は64件、非ナラシ加入者(生産調整実施者)は、120件で併せて184件であります。

こしいぶきの格落ちの原因は、出穂期の高温や出穂後の日照不足のため乳白粒が多発したことが主な原因と聞いています。

気象条件も大きく関わっており、なかなか難しいと思います。29年度より新品種がデビューしますので、将来的にはこしいぶきの一部が新品種に切り替えていくことになると思います。



榎一春 議員

ここが聞きたい

# 一般質問

## 住民の生活道路、赤道・里道の管理は誰が

町長：町の管理ですが、近隣の住民で整備の協力を考えます

庭の樹木は、隣の敷地や道路に張り出した枝は、所有者の責任で管理することが一般常識だと思います。通常は、何もおこなわないと思いますが、近年の異常気象で時折被害発生ニューズを耳にします。高齢化が進む社会ですから安



▲羽生田～清水沢

町長 基本方針は、立ち木の所有者が管理および処理すべきと考えます。新緑の時期に道路まで伸びた枝や除雪車運行の支障となる立ち木の所有

### 公共施設の有効利用と一元管理

問 公共施設の公民館、体育館、武道場、原ヶ崎交流センターの利用状況把握や、使用者の満足感や希望を調査し、現状の分析をしっかりと、施設の維持更新計画など総合的にみて文化的施設の検討を進めるべきと考えます。教育

町長 一言で言えば財政の安定、インフラ整備の推進、町の活性化のための事業の推進、イベントの企画などもありますが、まさにまちづくりは人づくりと言われているように町と地域で推進する事業に、自主的・自立的に参加していただける体制を作ることだと思えます。



池井豊 議員

## 町長のまちづくり感は

町長：まちづくりは人づくり、人材育成事業を再度検討したい

町長 無投票になったことは町民にとって選択の機会がなくなってしまうということ非常に残念で、私も候補者一人ひとりの主張をぜひ聞きたかったと思っています。議員定数はほぼ適正ではないのかと考えています。議員報酬については、ここ数年特別報酬等審議会に対して改善するように諮問してき

町長 参加者数は5日間で延べ212人で、質問・意見は42人の方から75件いただきました。それだけ関心があつて期待感もあつたと感じています。財政状況については、町の財政計画との整合性について説明をして、心配ないと回答しました。



▲住民説明会（コミュニティセンター）

町長 無投票になったことは町民にとって選択の機会がなくなってしまうということ非常に残念で、私も候補者一人ひとりの主張をぜひ聞きたかったと思っています。議員定数はほぼ適正ではないのかと考えています。議員報酬については、ここ数年特別報酬等審議会に対して改善するように諮問してき

説明会では期待感があつたと感じています。7月24日まで意見箱を設置してありますので、意見を整理して町民にも報告していきたいと思えます。

問 私は、「まちづくりとは」とたずねられる場面が多くあり、「自らが住んで楽しいまちを創る」と言っていました。住民主体でまちづくりは行われ、それを補完するよう行政との協働が行われるといいと思っています。町長の「まちづくり感」はいかがですか。町長に「まちづくりとは」と質問したらどのように答えますか。

### 田上町議会議員選挙を総括して

問 2015年の田上町議会議員選挙を総括して町長としての所感をたずねます。今回は無投票になりましたが議員の定数ならびに報酬が適正と思われませんか。

### 道の駅関連事業の住民説明会を終えての手ごたえは

問 道の駅関連事業の住民説明会が行われました。説明会を終えての感想や手応えはいかがですか。・全体の参加者数は予想に比べてどうでしたか。・町民の期待度は大きかったのか小さかったのか。・財政状況の不安度は大きかったのか小さかったのか。・事業推進にあたり推進力を得る手応えはありましたか。・説明会で参考になる意見はあつたでしょうか。

ここが聞きたい

# 一般質問



高取 正人 議員

## (仮) 地域交流会館の駐車場は十分か

教育長：計画中であり、台数は未定

### (仮) 地域交流会館の駐車場の確保策は

**問** 築50年を超え、老朽化している田上町公民館の収容人数と駐車台数、毎月の利用者数と利用率及び生涯学習の講座数はいくつですか。

また、役場、商工会館および保健福祉センターの周辺施設を合わせた駐車台数もたずねます。

**(仮)** 地域交流会館の収容人数と駐車台数、予想される利用者数および利用率は現在の計画で十分でしょうか。

**教育長** 公民館は収容人数を定めてはいません。駐車台数は周囲に50台程度あります。利用状況や利用者数は、平成26年度の実績として、町で主催する事業が15事業、定期利用の団体・サークルが26あり、月平均で約1600人の利用となっています。

役場や商工会、保健福祉センターの駐車台数は、計22

7台あり、うち98台は共有の来客用駐車場となります。

**(仮)** 地域交流会館の収容人数、駐車台数について、基本構想、基本計画をまとめ、施設の規模や配置を検討した上で決めることとなります。敷地が約1万平方メートルと限られますので、周辺施設を最大限活用する必要があります

**問** 公民館は、ホームページにクラフトルーム除いた収容人数が265人とあります。265人に30日を掛けると7950人、約8000人となります。月1600人の利用者であれば利用率が2割となります。また、収容人数265人に対する駐車台数が50台ですので、こちらも2割の駐車台数となります。新設の

**(仮)** 地域交流会館は、収容人員を530人と現在の倍で計画されています。役場付近に227台あれば、駐車場は十分と思いますが、もし**(仮)**

地域交流会館が全室利用された場合の駐車場の確保策についてたずねます。

また今後、公民館の利用率、生涯学習講座を増やす考えがあるか、**(仮)** 地域交流会館の利用率を上げて利用者数を増やす方策についてたずねます。

**教育長** 利用率が2割ということですが、講堂は卓球、武道、音楽サークル、ダンス等の講堂以外の利用が圧倒的に多くなっています。定期的に利用するサークル・団体も多く、飛び込みで利用するのは困難ですので、単純に利用率が2割だからという議論は説明がつかない状況です。利用者からの意見、社会教育委員の公民館活動、社会教育、生涯学習活動の点検表からは、高い評価を得ており、定員の面で強い不満、要望はないので、皆さんが互いに譲り合いながら施設を利用しています。ただし、老朽化が進み、雨漏

りがあり、できるだけ早く、**(仮)** 地域交流会館を考えていかなければと議論を重ねてきたところです。敷地が限られていますので、知恵を出し合い、身の丈にあった町民の皆さんの満足のいく施設を作りたいと考えています。



▲田上町公民館

# 全 員 協 議 会

期日 平成27年6月18日

## 新たな広域連携について

新潟市と当町を含む近隣8市町村の連携構想が国の内示を受けました。中心市の新潟市は国から大きな財政支援を受けられることができます。

27年度は新潟市が圏域全体の課題整理と基礎データの調査を行い、その後、圏域で連携して取り組める事業の検討を行います。

国への申請は新潟市が行ったもので、町が協約を結んで参加するかどうかは未定ですが、協約を結ぶ場合は議会議決が必要となります。町にメリットがあるかどうか今後検討した上で判断されます。

## 環状交差点（ラウンドアバウト）の設置について

今年2月に県知事から県内初の環状交差点を当町に設置したいとの連絡がありました。その後、水田の地権者の同意を得たり、水田からの転用に支障がないかなどを調査し、ようやく設置が可能となりました。

環状交差点のメリットとしては、交通事故の抑止、被害の軽減、待ち時間の減少などがあり、国も設置を推進しています。現在全国で15都道府県45箇所を設置されています。環状交差点は直径31mで右回り通行、1車線となります。工事費は総額1億2千万円ですが、100%県の負担で行います。

工事期間は9月中旬頃から来年3月末までで、その間は通行止めになります。

## 都市計画用途地域の見直しについて

今年1月22日に町の都市計画審議会で見直しを協議し、その後町内3会場で説明会が開催されました。

既に用途指定された地域の見直しは町審議会の案件で、処理は早くできますが、新たに用途指定するものは県の国土利用計画審議会の案件で時間を要することです。見直しが完了するのは、町の案件（3地区）は7月末頃、県の案件（6地区）は来年3月中旬頃の予定です。

## 地域版人口ビジョンと総合戦略の策定について

平成22年までの国の長期ビジョンを踏まえて、地域の実情に応じた地方人口ビジョンと、今後5年間の目標や施策の基本的方向などを総合戦略としてまとめます。

町では総合計画や県計画との調整を図りながら、10月を目処にしてまとめたいと考えています。

なお、総合戦略策定会議は住民・産官学金労の各界の代表者で構成されています。



▶環状交差点のポスター





# 総務産経常任委員会付託案件審査

## ■主な議案内容

・マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)の実施で手数料条例、個人情報保護条例の一部が改正される

### 手数料徴収条例、個人情報保護条例の一部改正

番号法が施行され、マイナンバー(個人番号)が今年10月から通知されることに伴い、手数料徴収条例では個人番号通知カードや個人番号カードの再発行手数料の項目が追加されました。

個人情報保護条例では、特定個人情報に関する特則が追加され用語の定義や利用、提供の制限、任意代理人による開示請求、適用制限、手数料等の条項が追加されました。

### 国営土地改良事業負担金徴収条例の廃止

新津郷土地改良区における土地改良事業が、平成26年度で完了したことに伴い負担金徴収条例を廃止するものです。

### 27年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出1781万8千円減額し、総額を43億2618万2千円とする補正です。

歳入では民生費国庫補助金での臨時福祉給付金1679万5千円、子育て世帯臨時特例交付金492万円の受入、繰入金では財政調整基金12

16万2千円、減債基金3500万円の減額等が主なものです。

歳出では、各費目にわたって職員の4月の人事異動に伴う給料、手当、共済費等の増減が主です。議会費では広報特別委員会の常任委員会化に伴う報酬の増額5万円、総務費では自治総合センターコミュニティ助成事業交付金による本田上地区への助成金250万円、少子化・定住対策事業では27年度で予定していた事業を国の緊急支援交付金事

業として、26年度補正で繰越して行うため517万9千円の減額です。農林水産業費での生産目標数量推進助成金2880万円も同様に減額、商工費では、本田上工業団地に立地した企業1社分の工場設置奨励金579万2千円の増額等が主な補正です。



### 議論の中心

Q 少子化・定住対策事業で新婚世帯家賃支援事業は、現在10件の支援を行っていると説明があつたが、更に効果を上げるには家族向けのアパート等の建設も必要で、民間の力も必要だが、他町村でも最近増えている公共での建設も考えても良いのではないかと  
A 今後研究していくとの答弁がありました。

### 27年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)水道事業会計補正予算(第1号)

職員の人事異動に伴う給料、手当、共済費等の増減のみの補正でした。

いずれも全会一致で原案可決しました。

委員長 熊倉 正治



▲総務産経常任委員会付託案件審査

社会文教常任委員会付託案件審査

■主な議案内容

- ・第1号保険料の軽減強化対策について
- ・介護保険特別会計へ一般会計より繰り入れ
- ・4月の人事異動にともなう補正予算の組み替え

田上町介護保険条例の一部改正 (一部抜粋)

段階区分	第1段階
対象となる方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護受給者</li> <li>・老齢福祉年金受給者で、世帯全員が町民税非課税の方</li> <li>・世帯全員が町民税非課税で、本人の前年の年金収入等が80万円以下の方</li> </ul>
年額	新 31,300円 旧 34,800円

Q 第1段階の保険料の減額賦課はいつまで延長するのか。  
 A 平成27年度から29年度までの3年間といたします。



Check

議論の中心

所得水準に応じてきめ細かな保険料設定を行うため、6段階から9段階に改正されました。

介護保険条例の一部改正

27年度一般会計補正予算 (第1号)

歳入歳出とも1781万8千円を減額し、総額43億2618万2千円としました。

主な内容は、各課共通して、4月の人事異動による手当の変更です。

臨時福祉給付金事業補助金等で、2171万5千円、地域活性化・地域住民生活等、緊急支援交付金の予算の組み替えなどです。

町では低所得者の方の支援として、2200人に一人当たり6千円、子育て世帯給付金では、1320人に一人当たり3千円が支給されます。

27年度介護保険特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出予算の総額に111万円を追加し、総額を13億1811万円としました。

歳入の主な内容は、第1号被保険者の保険料の不足により、低所得者保険料を一般会計より134万4千円を繰り入れるものです。

歳出では、前年度の給付実績に基づき、支払基金に111万円を返還するものです。

いずれも全会一致で原案可決しました。

委員長 松原 良彦



▲付託案件審査報告



▲社会文教常任委員会付託案件審査

日時 平成27年6月9日

地域整備課、産業振興課が管理する施設等の視察を行いました。地域整備課においては、上水道、下水道の施設、国道403号線バイパス工事箇所、産業振興課では指定管理者に移行している3施設及び本田上工業団地、梅雨の時期を迎えていることから才歩川水門、横場排水機場の視察も行いました。

【地域整備課】

- ・川船河浄水場、配水池
- ・羽生田浄水場、高架水槽（金毘羅山）
- ・横場地区排水処理場
- ・田上終末処理場
- ・才歩川水門
- ・国道403号線バイパス工事箇所（山田、中店地内）



▲田上終末処理場



▲羽生田浄水場



▲本田上工業団地

【産業振興課】  
 ・YOU・遊ランド  
 ・湯つ多里館  
 ・椿寿荘  
 ・本田上工業団地  
 ・横場排水機場  
 下水道終末処理場、椿寿荘はそれぞれ適正に維持管理の対応はされていると思われるが、施設の老朽化が進んでいると感じました。

加茂市・田上町  
 消防衛生組合

3月定例会

期日 平成27年3月26日  
 場所 加茂市役所

平成26年度一般会計補正予算は、消防費の職員人件費減、火葬場嘱託員経費の増額、電気料金の値上がりによる光熱水費の増額により、950万2千円増の総額9億7千403万3千円となりました。

平成27年度一般会計予算は、前年度と比べて1千759万3千円減の総額9億3千937万8千円となります。

2議案とも原案通り可決されました。

組合議員

- 池井 豊
- 川崎 昭夫
- 浅野 一志
- 今井 幸代

# 議会からのお知らせ

## 田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>

※議会のフェイスブックページは、アカウント登録がなくても見ることができます。



QRコードからでも  
アドレスを取得できます。

## 議会会議録をホームページに掲載しています

本会議および委員会会議録をホームページに公開しています。  
各定例会の約3ヵ月後に公開となりますのでご了承願います。

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**9月8日(火)**からの予定です。請願は9月1日(火)までに提出されたものを9月定例会で審議します。



6月16日、本会議開会前に、新潟県町村議会議長会より在職20年以上で表彰された小池真一郎議員に対し、議長が表彰状の伝達を行いました。

# 議員の決意



**小池真一郎** (町政クラブ代表)

今、まち、ひと、しごとの地方創生です、皆さんと一緒に活力を取り戻す、まちづくりに取り組みます。



**関根一義** (創新会代表)

安全・安心な地域社会の実現はまちづくりの原点です。  
 ・平和をめざし、原発の再稼働に反対しましょう  
 ・防災対策、災害避難体制を確立しましょう  
 ・子育て支援、高齢者福祉の充実を図りましょう



**松原良彦** (保守クラブ)

①安全、安心、災害に強い町づくり。  
 ②403号バイパスを早く竣工させ、交流人口を増やすなど、きめ細かな政策への実現に向けて取り組みます。



**熊倉正治** (町政クラブ)

自立し将来にわたって存続できる町を目指し行政課題の検証と政策提言をしっかりと行っていきます。



**椿 一春** (創新会)

「もっと」をテーマに、もっと、住みよい町の実現のため全力で取り組んでまいります。守ります！約束！



**皆川忠志** (町政クラブ)

これからも「新しい風」を吹かせます。子どもたちの未来のために、「かえって来たいまちづくり・ここがいい」と希望の持てる町づくりに全身全霊で取り組みます。



**笹川修一** (創新会)

時代の変化に対応する情熱と実行力！  
 住みよい田上 豊かな田上 安心の田上  
 防災と減災の田上をめざします！



**泉田壽一** (保守クラブ代表)

《座右の銘》  
 日々努力、日々成長、日々感謝  
 研鑽を積み、権能を高めてこそ  
 議員の資質と人としての価値観



**池井 豊** (保守クラブ)

誇りをもって住める魅力ある地域を創る。  
 災害に強い安全なまちを創る。  
 安心して生活できるコミュニティを創る。  
 人口増加策を実現し持続可能なまちを創る。



**川崎昭夫** (保守クラブ)

町民が主役の開かれたまちづくり。高齢者、障がい者が安心して暮らせる福祉の充実。医療の充実、教育の拡充にむけ頑張ります。



**浅野一志** (町政クラブ)

安心安全な町、皆が集える町、  
 住みやすい町、護摩堂山を活用した町を  
 そんな田上を実現したい



**今井幸代** (保守クラブ)

町の永続的な存続と、社会に貢献できる自立した逞しい子ども達の育成のため頑張ります。



**小嶋謙一** (町政クラブ)

今、地方が主役の時代をむかえて、町民の皆さんが「田上に住んで本当に良かった」と実感できる、田上版施策を考え実現に努めます。



**高取正人** (町政クラブ)

田上をもっと住みよい町に農商観光業を振興します。  
 ITを活用した自治体をめざします。  
 医療、福祉、教育の充実をめざします。

## 編集後記

4月の改選後、初の定例会が6月16日から8日間にわたって開かれました。一般質問には新任3名を加えた7名の議員が諸課題に対して質問しました。

新任である私も議会の厳粛かつ威厳さえ感じる緊張した中で質問し、議員の重責を肝に命じました。

議会だよりには、質問内容とその答弁が、質問者によってまとめられ掲載されています。

なお、議会だよりを編集している広報対策特別委員会は、条例改正により広報常任委員会になりました。情報化の進展に即した内容と一層の充実を図りながら町民の皆様にはわかりやすい広報紙を目指していきます。

(小嶋 記)

- 委員長 浅野 一志
- 副委員長 小嶋 謙一
- 委員 松原 良彦
- 委員 熊倉 正治
- 委員 今井 幸代
- 委員 笹川 修一
- 委員 高取 正人